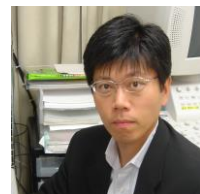




## これまでの医師人生を振り返って ～②忙しいけど充実していた勤務医時代

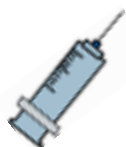
医療法人社団 有晃会 理事長 船本 全信



大学病院で1年間のヒヨコ時代を終えた後、NTT西日本大阪病院第2内科(呼吸器・免疫アレルギー科)に勤務しました。ここは以前通信病院と呼ばれ、大阪環状線桃谷駅近くに立地する旧郵政省の関連のおおらかな雰囲気を持った病院でした。勤務初日に病院長への挨拶のため院長室に入った私に、強面の病院長は開口一番、「君の医籍登録番号と登録年月日は？」と聞かれました。突然の質問に面食らって突っ立っていると、病院長は「君と言う一人の人間が、医師としてこの社会で生きていくうえでの身分証明は医師免許証である。だから、何があってもすぐ言えるようにしておかないといけない。絶対に覚えて置くように。」と人懐っこい笑顔を見せながら仰いました。そんな人間味のある病院長が率いるこの病院は、外科や産婦人科・整形外科・内科など全ての臨床医が自由に意見交換が出来る素晴らしい病院でした。ヒヨコから雛鳥になったばかりの当時の私も、病院では普通の一人の医師としての扱いで、外来や病棟も一人で受け持ちます。

「一人で」とは言っても、雛鳥程度ではやはり立ち行かなくなることも多く、患者さんへの対応・効率的な検査の実施や判断・終末期医療(人工呼吸器・心臓マッサージ含め)・学会発表など日常臨床に必要なあらゆるスキルを指導医から手解きしていただきました。ここでの思い出は、ある肝臓がん末期の患者さんのことです。この方は千葉真一似の非常にカッコイイ方で、週末の外泊にはギンガムチェックのジャケットと黒のスラックス・白のドレスシャツを着て颯爽と病室を出ていく姿は、今で言う「ちょい悪オヤジ」風で立ち居振る舞いが非常にスマートでした。奥さんも謙虚な方で、常にご主人に寄り添いかいがいしくサポートされ、子供さん達も忙しい中何度もお見舞いに来ており羨ましいほどの仲良し家族でした。病室を訪れた私に、彼は自分の人生を振り返り、今後役立つであろう色々なアドバイスをしてくれ、私にとっては父親というより「年上の兄貴」みたいな存在でした。しかしそんなことには関係なく、癌は容赦なく彼の体を蝕んでいきました。次第に外出も困難になり、ベッド上での寝たきりとなりましたが、私が病室を訪れるといつも素敵なお顔を迎えてくれました。そんな彼の肺には胸水が貯まっていたのですが、ある時どこかの動脈が傷ついたのか血の混じった胸水(最後は血液そのもの)に変化し、著明に増加した胸水は心臓や肺を圧迫していきました。まさしく急変で息も絶え絶えの相当苦しい中、「先生、お世話になりました。」と言ってくれたのです。これは、反則です。そういった感謝の言葉は、寄り添ってくれている家族に掛ける言葉です。私たちには「患者さんの前では冷静に振舞え」というルールがあるのですが、その言葉を聞いた私は溢れ出る涙を止めることが出来ませんでした。「もっとお世話させてください。」と泣きながら言ってしまいました。病室には家族や親戚のみならず彼を慕う仕事仲間一杯でしたが、最後の時まで「声で」「目で」「手で」想いを伝えながら彼は旅立って行かれました。その数日前のことでしょうか、「先生、やっぱり家に帰りたい。」とぼつりと一言漏らされていました。病院勤務の私には、そんな彼に何もしてあげることができませんでした。そんなこともあって、開業当初から私は家で最期を迎えたい患者さんの往診や在宅医療をしています。色々難しい面もあって思い通りにならないこともありますが、出来るだけサポートしたいという思いにつながっています。(次号に続く)

### ★インフルエンザ予防接種のお知らせ★



インフルエンザの予防接種を **10月15日** より行っております。



◎予防接種は予約制ではありませんので、直接窓口にお申し付けくださいませ。

## 10月の予定

エコー検査	井上 Dr.	1(土)・15(土)・29(土)
	杉山 Dr.	7(金)・14(金)・21(金)・28(金)
専門外来(血液・消化器)	谷口 Dr.	12(水)・26(水)
専門外来(神経)	藤本 Dr.	1(土)・15(土)・29(土)
食事相談	宮本管理栄養士	17(月)・24(月)



## 11月の予定

エコー検査	井上 Dr.	19(土)
	杉山 Dr.	4(金)・11(金)・18(金)・25(金)
専門外来(血液・消化器)	谷口 Dr.	お休み
専門外来(神経)	藤本 Dr.	5(土)・19(土)
食事相談	宮本管理栄養士	14(月)・28(月)



## ヘルパーステーションの役割と感謝

ヘルパーステーション  
ふくろう  
管理者 岩崎 めぐみ

こんにちは！ヘルパーステーションふくろうの岩崎です。

「ヘルパーさん」 世の中のおまわりさんと同じ位に認知されてきたのではないのでしょうか。

意外かもしれませんが、私達の願いはおじいちゃん・おばあちゃんが出来る限りご自身の望まれる生活をご自分の力で行う事です。その中で、どうしてもやりにくい事、出来ない事が発生した時に私達の知識や労働力を使って頂けたらと思ひ毎日それぞれの家庭を訪問させて頂いております。

皆さんより「大変やね～」と声をかけて頂いたうえに、日々様々な事も教えてもらっています。

おじいちゃんからは戦争の事、現在がどんなに豊かになったかということ、おばあちゃんからは旬のお料理、効率の良いお掃除の仕方、ご主人に気持ちよく働いてもらう方法など様々です。本当にありがたい事です。

私達は希望と感謝の思いを込めて利用者の方々と過ごせる時間を大切にしています。

ヘルパーステーション ふくろうをご利用の皆様、今後も宜しくお祈いします。

また、これからお逢いする皆さん！宜しくお祈いします。

ご相談などありましたら、下記までご連絡下さい。

# 0120-57-2960

ヘルパーステーションふくろう



### 靴の履き間違いにご注意

最近、靴の履き間違いが多発しております。  
お帰りの際は、靴の確認をなさってお帰り下さい。  
また、お間違いになられた方は当院にご連絡していただくようお願い申し上げます。(TEL: 0798-81-1192)

### ☆保険証提示のお願い☆

保険証が変更(負担割合変更も)になった場合は、変更後最初の受診時には、月の変わり目に関係なく必ずご提示下さい。また、月1回の保険証提示にもご協力下さい。宜しくお祈い致します。